

中・高・大を連携した「思考力、判断力、表現力」

育成のための英語教育の研究

Connecting English education systems in middle school, high school, and university
to develop critical thinking, decision making, and expression

服部 孝彦¹, ティモシー ライト², グレゴリー ジョンソン³, 高野 成彦⁴, ローレンス カーン⁵
Takahiko Hattori¹, Timothy Wright², Gregory Johnson³, Narihiko Takano⁴, Lawrence Karn⁵

¹大妻女子大学英語教育研究所, ²大妻女子大学社会情報学部, ³大妻女子大学比較文化学部,
⁴大妻女子大学教職総合支援センター, ⁵大妻女子大学英語教育研究所

キーワード：思考力・判断力・表現力, 中・高・大連携, 英語教育

Key words : Critical thinking and decision making and expression, Connecting middle school, high school and university, English language education

1. 研究目的

本研究の目的は、英語教育における中・高・大を連携した「思考力、判断力、表現力」育成の指導の在り方を考察することである。我が国では、中・高・大のいずれの段階においても、英語の授業では「思考力、判断力、表現力」育成について深く考察されることは少なかった。その理由としては、英語教育では、まず言語材料をいかに習得させるかに焦点があてられていたからである。しかし、「知識・技能」を活用して課題を解決するために必要な「思考力、判断力、表現力」の育成は学校教育法で規定されている学力の3要素のひとつである。本研究では、申請者たちが今まで行ってきた大妻女子大学での論理的思考力育成教育及び大妻女子大学附属の大妻中野中学高等学校における論理的思考力育成教育の成果を踏まえ、中・高・大を円滑に接続した学習者の発達段階に応じた「思考力、判断力、表現力」育成のための指導法の開発を行う。

2. 研究実施内容

2.1. 研究の学術的背景

今日は知識基盤社会であり、グローバル化の進展など急速に社会が変化中、次代を担う生徒・学生たちには、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて判断することが求められている。学習指導要領では学校教育でつける力を、①基礎的・基本的な知識・技能、②知識・技能を活用して課題

を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、③主体的に学習に取り組む態度とし、それらを学力の3要素としている。本研究はこの学力の3要素の1つである「思考力、判断力、表現力」育成のための中・高・大を連携した指導法の開発を行った。

2.2. 研究内容

本研究では、論理的・批判的思考力の理論的整理を行うと共に、4技能5領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと(発表)」、「話すこと(やり取り)」、「書くこと」）統合型の活動を通じた英語による「思考力、判断力、表現力」を育成するための授業に取り組むことができるようにするための手順を示し、授業の課題と、実践可能な課題の解決方法を明らかにした。具体的に英語の授業においては、「聞いたり」「読んだり」して得た情報について、その概要や要点を的確に把握し、自分の意見や考えなどの共通点や相違点などを示しながら論理的・批判的に「話したり」「書いたり」して表現する力を育成した。また、与えられた話題について、限られた時間の中で自分の意見を、説得力を持って表現する力、相手からの問いかけに応じて自分の経験や考えを適切に述べる力を育成した。

4月～6月は、ロンドン大学のUPC(学士入学準備コース)入学試験で課される『批判的思考テスト』のArgumentに関わる学力評価を中心に考察した。それを基に、英語教育における「思考力、判

断力, 表現力」が具体的にどのような学力を指し, どのように育成し, どのように評価するかについて明確にした。(研究成果は日本人類言語学会の年次学術大会で研究発表.)

7月～9月は, 理論研究としては, Bloomの学習活動における「記憶・理解・応用・分析・評価・創造」という6つの認知過程次元の検討. 実践研究としては, 中・高・大の英語教育において, それぞれの段階でつけるべき「思考力, 判断力, 表現力」の把握.(研究成果は, 国外では米国に於ける Clute Institute の国際研究大会, 国内では日本学校教育学会の年次研究大会で研究発表.)

10月～12月は, 理論研究としては, Halpern, Anderson, と Facione の批判的思考スキルの考察. Halpern は批判的思考スキルを高次の認知的スキル (higher order cognitive skills) として位置づけ, 「分析・判断・統合」に分類している. また, Anderson et al. の「分析・評価・創造」とする分類は, Facione による批判的思考の認知的技能「解釈・分析・評価・推論・説明・自己制御」のうち「分析・評価・推論・説明」に対応していることの検討. 実践研究としては, 「聞くこと」「読むこと」「話すこと(発表)」「話すこと(やり取り)」「書くこと」の4技能5領域を, 複数の領域を統合的に活用し, 情報や考えなどを的確に理解したり, 目的に応じたコミュニケーションのプロセスを通じて適切に伝えたりする「思考力, 判断力, 表現力」の育成方法を考察.(研究成果は日本言語文化学会の年次研究大会で研究発表の予定.)

1月～3月は, 理論研究としては, 英語教育における「思考力, 判断力, 表現力」を Argument の「分析・評価・創造」に分類することを考察. 実践研究としては, 「思考力, 判断力, 表現力」育成のための授業の課題となる点とその解決方法をより明確にした.

3. まとめと今後の課題

本研究の目的は問題発見能力, 問題解決能力に結びつく「思考力, 判断力, 表現力」を中・高・大を通じて英語教育において育成することである. 現在は, 英語教育において育むべき「思考力, 判断力, 表現力」が明確化されないまま, その概念だけが教育現場に導入されているのが実情である. このような状況にあっては, 英語教育を通して「思考力, 判断力, 表現力」を効果的に育成するのは困難である.

本研究は, このような状況を踏まえた上で, 英語教育における「思考力, 判断力, 表現力」の枠組みを規定し, その育成のためには従前の英語教育の枠組みを超えた議論学 (Argumentation Theory) の知見を導入する必要性を論じた. Argument (論証) に関する能力を中・高・大の英語教育でどのように導入すべきかを検討するという視点は, 従来の英語教育にはなかったといえる. Argument を用いた授業モデルをどのように設計することが中・高・大のそれぞれの段階の学習者にとって効果的であるのかについては, 今後の実証的研究を通して明らかにしていく必要がある.

4. この助成による発表論文等

①雑誌論文

[1]Takahiko Hattori, Lawrence Karn, “The Creative Process, Memoir, and Redemption” *Journal of International Education Research*, (査読有), Volume 11, No. 1, 2018, pp.23-38.

[2]Takahiko Hattori, Lawrence Karn, “Enlightenment, Modern, and Postmodern Rock Concerts: An Example of Creative Non-fiction Academic Writing” 『大妻女子大学紀要—社会情報系—社会情報学研究』(査読無), 第27号, 大妻女子大学, 2018, pp.99-119

②学会発表

[1]Takahiko Hattori, 「中・高・大を連携した論理的思考力育成のための英語教育研究」, 日本人類言語学会第18回学術大会, 2018年5月20日, 筑豊ハイソ

[2]Takahiko Hattori, “Developing Academic English Skills on Evaluative Reading and Critical Writing”, 日本言語文化学会第25回研究大会, 2018年6月30日, 大妻女子大学

[3]服部 孝彦, 「論理的に英語を話す力を育成するための教材開発に関する研究」, 日本学校教育学会第33回研究大会, 2018年8月4日, 東京学芸大学

[4]Takahiko Hattori, “Improving Students’ Discourse Competence in English as a Foreign Language at Secondary Schools in Japan”, *The Clute Institute*, 2018 International San Francisco Academic Conference, 2018年8月7日, Courtyard by Marriot San Francisco Downtown Convention Center, San Francisco, California USA

③その他(「思考力, 判断力, 表現力」を育成するための中・高・大を連携した特別公開講義)

[1]Takahiko Hattori, “Introduction to Academic Speaking”, 2018年6月5日, 大妻中野中学高等学校 (公開授業, 使用言語: 英語)

[2]Takahiko Hattori, “Introduction to Academic Presentation”, 2018年6月7日, 大妻中野中学高等学校 (公開授業, 使用言語: 英語)

[3]Takahiko Hattori, “Developing Logical Speaking Skill (Introductory)”, 2018年6月9日, 大妻中野中学高等学校 (公開授業, 使用言語: 英語)

[4]Takahiko Hattori, “Developing English Presentation Skills (Introductory)”, 2018年6月29日, 大妻中野中学高等学校 (公開授業, 使用言語: 英語)

[5]Takahiko Hattori, “Developing English Presentation Skills (Advanced)”, 2018年9月8日, 大妻中野中学高等学校 (公開授業, 使用言語: 英語)

[6]Takahiko Hattori, “Developing Logical Speaking Skill (Advanced)”, 2018年10月13日, 大妻中野中学高等学校 (公開授業, 使用言語: 英語)

[7]Takahiko Hattori, “Developing Academic English Writing Skill”, 2018年11月2日, 大妻中野高等学校 (公開授業, 使用言語: 英語)

[8]Takahiko Hattori, “English Presentation Workshop”, 2019年2月15日, 大妻中野高等学校 (公開授業, 使用言語: 英語)